

2026.4 (中)

埼玉民主フォーラム

(180)



埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート

特集

医療的ケア児の学校給食はみんなと同じ！

3月16日(月)



埼玉県議会2月定例会・予算委員会で各部局審査、大野知事に対する総括質疑に登壇しました。教育委員会所管審査では、昨年6月定例会一般質問で取り上げた特別支援学校に通う児童生徒の保護者の願い「**学校給食でもペースト食を認めてもらいたい**」について、令和8年度の取り組みについて質疑しました。

我が子の給食への保護者の願い！



「我が家の小学校3年生の娘は、医療的ケアを必要としており、埼玉県立の特別支援学校に通っています。娘は、胃ろう(お腹に穴をあける)から、食べ物を注入しています。家庭では、できるだけ家族と同じ

食べ物をペースト状にして、シリンジ(注射器)で注入しています。ところが、埼玉県立の学校では教職員によって栄養剤が注入されています。ただ、私たち保護者が学校に行き、直接シリンジ注入する際のみ認められています。他の都道府県では、保護者でなくても教職員が対応してくれています。」

ご意見・ご要望の内容

ぜひ、埼玉県立特別支援学校でも保護者が行くことができなくてもペースト食の給食対応が実施されますよう取り組んでください。我が子が3歳の時にお腹に穴をあける手術をしました。とても辛いことでしたが、美味しいものをいっぱい食べさせてあげたいとの思いで決断しました。



医療的ケア児支援勉強会



裏面へ



この問題について、どのように対応したの？



保護者が給食時間に学校へ行って、ペースト食を食べさせている場に同行しました。当日の、給食メニューは、スパゲティーや野菜スープ、デザートはメロンでした。このメニューにできるだけ近いナポリタンの具や野菜スープ、メロンゼリーのペースト食が準備されていました(写真は、当時のペースト食と注入用のシリンジです)。お母さんは、少量のペースト食をスプーンにのせて、お子さんの口元に触れながら、ひとつひとつの食べ物を説明していました。そして、シリンジで胃ろうに注入します。



お子さんの様子はどうでしたか？



とても、素敵な表情をされていました。



混ぜる前



30秒混ぜたあと



混ぜ終わってから5分後

写真出典 神奈川県立こども医療センター

保護者が学校に行けない場合はどうしているの？



保護者以外の教員等が行う場合は、**固形栄養剤**が注入されます。



近隣自治体の対応は？



神奈川県では、平成31年にガイドラインを作成して、学校の教職員がペースト食を注入しています。その他、東京都、千葉県、静岡県でも教員などによって、ペースト食をシリンジによって注入されていることを確認しました。



埼玉県の課題は？

しかし、埼玉県には、学校職員によってペースト食のシリンジ注入を行うためのガイドラインが存在していません。そこで、昨年6月定例会では、教育委員会に対してガイドラインを策定するよう求めました。



今回(2月定例会)の教育委員会の答弁？



日吉教育長

これまでに、ガイドラインの改訂に向けて検討会を開催してきました。5月に最後の検討会を開催した後、学校職員が対応できるようにガイドラインを改訂します。

埼玉県として初めての取り組みです。保護者の皆さんの「**子どもたちにみんなと同じ給食を食べさせてあげたい！**」の願いが実現します。



埼玉県議会議員 小川ひさし プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
(～4年6カ月間の内弟子修行)
1987年 参議院議員西川きよし秘書(私設)
1999年 西川きよし政策担当秘書

枝野幸男さんと連携・協力して取り組んでいます！

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所
〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索 Q

<https://ogawa-hisashi.jp/>



2026.4 (下)

埼玉民主フォーラム

180



埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート

特集

子どもたちの教育環境の改善が実現へ!

令和8年度予算に対する予算委員会質疑に登壇(教育関係予算)

3月16日(月)

埼玉県議会2月定例会・予算委員会において、教育委員会関係予算に対する質疑を行いました。今回の質疑は「県立特別支援学校の教室不足」についてです。昨年6月定例会本会議一般質問において、「さいたま市の子どもたちが通う県立特別支援学校の教室が不足しており、教育環境が悪化しているため、教室の増設など環境改善を求める。」ことについて訴えました。今年2月定例会予算委員会において、来年度の対応状況について質疑しました。今号では、教育長が回答しました令和8年度の対応について報告いたします。



少子化で子どもが少なくなり、学校に余裕教室が生まれていることはよく聞くけど、**教室不足**ってどういうことなの？



埼玉県内の**県立特別支援学校**では、児童生徒数が増加しており、**教室の不足は深刻な問題**となっています(さいたま市など県南ゾーンにおける受け入れ規模は3,124人、児童生徒数4,152人、過密状況は1,028人となっています)。



県教育委員会などの対応は？



県教育委員会においては、令和7年3月に「**埼玉県特別支援教育推進計画**」を策定し、県立特別支援学校の整備を位置づけました。さいたま市内では、**県立岩槻はるかぜ特別支援学校**が令和5年4月に開校するなど、環境整備に取り組んでいるところです。しかし、例えばさいたま市北区の児童生徒が通学している西区の**県立大宮北特別支援学校**では、令和7年度において八つの教室が不足し、**一つの教室をパーティションで区切り二つの教室として使用しています**。直接、学校を訪問して状況を確認しましたが、**極めて劣悪な環境であると感じました**。



▲県立大宮北特別支援学校



昨年6月定例会本会議の質問と答弁は？

昨年6月18日

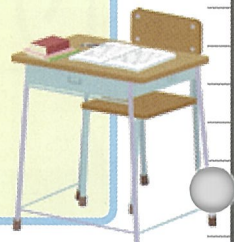


「大宮北特別支援学校などさいたま市の子どもたちが通う学校において、教室不足が生じ**劣悪な環境で学校生活を送っています**。可能な限り仮設校舎の設置など**環境の改善に取り組む必要がある**と考えます。」と、日吉教育長に見解を求めました。



日吉教育長

日吉教育長は
「県は、今後の児童生徒数の推移を踏まえ、効果的な手法を検討しながら**スピード感を持って大宮北特別支援学校を含めた県南ゾーンの特別支援学校の教育環境の改善に取り組んでまいります**。」と、残念ながら具体的な改善策については示されませんでした。



今回の予算委員会で具体的な改善内容が示されたのですか？



はい。さいたま市の子どもたちが通学する「大宮北特別支援学校」、「浦和特別支援学校」、「上尾かしの木特別支援学校」における教育環境改善について、具体策が示されました。



教育環境改善の 具体策



西区の「県立大宮北特別支援学校」……校舎全面改修
受け入れ規模110名増、令和8年度予算額 約2億5千万円
「浦和特別支援学校」……一部改良
受け入れ規模120名増 令和8年度予算額 約1億円
「上尾かしの木特別支援学校」……増築
受け入れ規模120名増。令和8年度予算額 約8千7百万円

大きく前進！

3月16日



令和8年度はこれらの予算によって、校舎の改築に係る基本計画の策定を行う予定です。引き続き、さいたま市の子どもたちが通う県立学校の教育環境改善に向けて全力で取り組んで参ります。

埼玉県議会議員 小川ひさし プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
(～4年6カ月間の内弟子修行)
1987年 参議院議員西川きよし秘書(私設)
1999年 西川きよし政策担当秘書

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

枝野幸男さんと連携・協力して取り組んでいます！

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所
〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索 🔍

<https://ogawa-hisashi.jp/>



埼玉民主フォーラム 県議会議員 木村イサオ

ACTIVITY REPORT

活動報告

南区版

2026年(令和8年) 年始版

県議会レポート

編集・発行
埼玉県議会 埼玉民主フォーラム
さいたま市南区支部
〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-101
TEL&FAX. 048-861-1368

2026年がスタート。

今年もよろしくお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。
今年も県議会議員として、「命を守る」「生活を守る」ことを目標に日々活動してまいります。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、埼玉県議会12月定例会は、12月1日に開会し、12月19日に閉会しました。本定例会では、知事から提案された補正予算案や条例改正案など、計70件を超える議案について審議を行い、可決・認定・同意しました。

以下、12月定例会の主な内容を報告します。
■国の補正予算を受けた大規模補正予算の成立

本定例会では、国の補正予算を受け、総額約751億円に上る補正予算を議決しました。物価高騰の影響を受ける県民生活や事業者を支えるための緊急対策を中心に、迅速な執行が求められる内容となっています。

主な事業としては、低所得世帯等への生活支援、エネルギー・食料品価格高騰への対応、中小企業や農林水産業者への支援などが盛り込まれています。

あわせて、八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえ、老朽化した下水道管や道路インフラへの緊急対応に係る補正予算も計上されました。県民の生命・財産に直結するインフラの安全確保は最優先課題であり、早期の復旧対応に加え、原因究明や再発防止策の徹底が求められます。

■クマ出没対策など安全・安心の確保

近年、県内各地でツキノワグマの出没が相次いでおり、住民の不安が高まっています。12月定例会では、こうした状況を踏まえ、クマ対策の強化に向けた予算措置も講じられました。人身被害の防止を最優先に、関係機関と連携した捕獲体制の強化や注意喚起など、実効性ある対策が求められます。

■条例改正・その他の議案

条例案について、特に注目されるのが、新たに制定された「カスタマーハラスメント防止に関する条例(いわゆるカスハラ条例)」です。近年、過度な要求や理不尽なクレームなど、カスタマーハラスメントが社会問題となる中、働く人の尊厳を守り、安心して働ける環境を整えることを目的として制定されました。

また令和6年度決算についても審議・認定が行われ、県財政の執行状況と課題が明らかになりました。

物価高騰・地震・クマ被害など社会不安が続いています。また、インフラの老朽化対策についてもこれからの大きな課題です。今年も生活を守るために働いてまいります。地域のことや生活のことなどになにかあれば、遠慮なくご相談ください。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 58歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(5期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!
●常任委員会 産業労働企業委員
●特別委員会 危機管理・大規模災害対策特別委員
議会運営委員



営業マンから政治の道へー木村イサオのイサオログへ

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

●連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-101
TEL&FAX. 048-861-1368
E-mail:webkimura3672@gmail.com URL:http://www.pwdd.net/i-kimura/



1月
令和7年の仕事始め。県議会では、11名で会派「埼玉県主フォーラム」を構成。大野知事とタッグを組んで県政を前進めます。



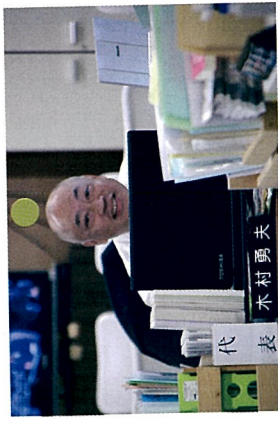
2月
1月28日に発生した八潮市道路陥没事故。大野知事に対して早急な事故対応を求めました。



3月
予算特別委員会の委員として「老朽化するインフラ対応」などを知事ら執行部に質問。



4月
埼玉県に新たに導入された防災ヘリ「あらかわ3号」を川島町のヘリポートで視察しました。



4月
会派である「埼玉民主フォーラム」の代表に就任。現場の声をしっかりと聞いてまいります。



5月
連合埼玉メーデー。働くことを軸とする安心社会実現のため、汗をかいてまいります。



5月
天皇陛下をお迎えし、秩父で行われた「全国植樹祭」。これからは「活樹」の取り組みが注目されます。

埼玉県活性化宣言！

令和7年 木村イサオの活動報告ダイジェスト。

今年もよろしくお願ひします。

これからも「命を守る。」「生活を守る。」「政策に取り組めます。」

**県議会
改革！**

**埼玉県の
医療・介護**

**地域防災力
の強化**

**中小企業の
活性化・安定
した雇用**

**教育環境
の充実！**

**マンション行政
の充実！**



7月
地元の辻地区の夏祭り。子どもみこしを担当しました。



10月
毎年行っている団体様との意見交換。50近くの団体様から様々な情報やご意見を頂きました。



10月
大野知事に対して新年度の予算要望を行いました。



12月
会派代表としてテレビ玉の「テレビ討論会」に。「埼玉県の行政運営」についてなど議論。



12月
県議会広報番組の「新春インタビュー」に。これからも、情報発信しながら身近な県政にまいります。

**県議会
改革！**